

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

2023年度 活動報告

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとでは、親の結婚や就労のために外国から熊本県に編入学してくる子どもたちが適切な日本語指導を受けられないことで進学や就職に支障をきたすことがないように、以下の5つの活動を行っています。



①日本語指導「くまもとこどものにほんご」

委託自治体数

15 自治体

児童生徒数

75 名

小中学校で日本語指導が行われている 熊本県の自治体

1)当会がこれまでに委託を受けた自治体

(計22自治体)

菊池市、菊陽町、宇城市、宇土市、合志市、大津町、山鹿市、玉名市、荒尾市、人吉市、美里町、玉東町、南小国町、南阿蘇村、西原村、氷川町、津奈木町、益城町、山都町、天草市

2)市独自で日本語指導を実施している自治体

(計2自治体)

熊本市、八代市

2023年度は、菊池市、菊陽町、宇城市、宇土市、合志市、大津町、山鹿市、玉名市、荒尾市、天草市、美里町、南小国町、南阿蘇村、西原村、玉東町の15自治体から日本語指導の委託を受け、委託児童生徒数は、2023年度3月末で75名でした。ルーツはさまざま、中国、フィリピン、ベトナム、オーストラリア、シンガポール、パキスタン、フランス、インドネシア、ネパール、アメリカ、ミャンマー、カナダ、シリア、ブラジル、ウクライナ、日本(海外帰国生徒・日本生まれ)です。

2023年度も、たくさんの子どものための日本語指導を行いました。また、日本語指導員の人数も増え、さらに、子どもたちへのサポート体制が整いつつあります。しかし、熊本県には大手半導体企業や関連企業の進出により、ますます日本語指導の必要な子どもたちが増えてくることが予想されています。また、日本語指導の行われていない地域もあり、どこに住んでいても、日本語指導が行われるように活動を続けていきたいと考えています。

2023/7/2

「第18回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！

外国から来た生徒や保護者は日本の高校入試の制度についてほとんど知りません。特に両親とも外国人の場合、言語の問題もあり、子どもの状況を把握できないため不安を感じる保護者も少なくありません。

進路ガイダンスでは、教育委員会より外国人生徒のための入試特別措置の説明を行い、多言語の資料を配付し、通訳を介して個別相談を行っています。

実施内容

- 第1部 入試特別措置の説明
- 第2部 先輩高校生の体験発表
- 第3部 個別相談会



<参加者の声>

進路ガイダンスで多くのことを学びました。3科目受験ができるとはいえ、良い高校に入って学習についていくためには、今から勉強を始めるべきだと言うことが分かりました。先輩の意見を聞いたおかげで、将来の選択肢について更にしっかり把握できるようになりました。

(中学生)

子どもにとってだけではなく、保護者にとっても日本の教育システムや高校入試のことについて理解できてとても有意義でした。このような機会がもっとあればいいと思いました。(保護者)

学校では時間が取れず、本人と詳しく話せなかったが、ここでしっかり時間を取って、ゆっくり話すことができて良かった。(中学校教諭)

③仲間づくり

2024/3/23~24

「第16回 九州外国ルーツの生徒交流会inくもと」を開催！

2024年3月23日、24日に「第16回外国ルーツの生徒交流会inくもと」を開催いたしました。実行委員は、NPO法人外国から来た子ども支援ネットくもと、共に歩み青春を語る会(菊陽町)、FSやつしろ外国にルーツを持つ子どもたちの会(八代市)、菊池日本語教室(菊池市)、ひだまり日本語クラブ(山鹿市)、秀岳館高校(八代市)の外国ルーツの中高生を中心に構成されています。

16回目を迎える生徒交流会は、大分県からの参加もあり、総勢112名(サポートスタッフ含む)の参加がありました。

今回は、初めての試みとして、各地域の活動紹介をしました。「それぞれの地域のことがよく分かった」と好評で、今後も続けていきたいと思えます。また、閉会式での感想発表では、日本の学校になじめていない子どもが自ら手を上げ、自分の気持ちを語り、その後も次々と子どもたちが交流会の感想や自分の気持ちを語った場面では、大人の参加者も感動し、これからも子どもたちへのサポートを続けたいという気持ちが強くなりました。

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場の提供
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり



④学習支援と居場所づくり

【おるがったステーション】

「おるがった」は熊本弁の「私たちの～」の意味です。「ステーション」は「出発する・帰るところ」という意味を含めて名付けられています。学習の場、居場所として外国から来た子どもたちにとってなくてはならない場所です。

来日直後の子どもたちには日本語の初期指導をし、初期指導が終了している子どもたちには学校の授業の内容を中心に国語や算数(数学)などの各教科の学習サポートを行っています。

国際交流会館学習会は小学生から中学生までの子どもたちが通っています。日本語が十分でないため、基礎学力がつかないまま高校進学し、授業についていけず困っている生徒も多くいます。また、高校受験や大学入試の面接や志望理由の練習に来る生徒も増えました。

12月にはお楽しみ会も行い、子どもたち同士のつながりも増えました！

サポーター大募集！

【学習会】

熊本市国際交流会館 毎週日曜 10～15時



【GLOBALTERAKOYAたけんち（元事務局学習会）】

サポーター大募集！

【学習会】

GlobalTerakoyaたけんち

毎週土・日曜日 9～15時

長期休暇中 随時

事務局学習会、改め「GlobalTerakoyaたけんち」には、小学生から高校3年生までたくさん子どもたちが通っています。遠方から来る子どもたちは事務局に宿泊して、勉強しています。



【やまが日本語クラブ】



保育園から高校生までの子どもたちとその家族が一緒に勉強しています。お母さんやお父さんは日本語、子どもたちは学校の宿題などを頑張っています。

勉強以外にサポーターの方の畑を借りて野菜を作ったり、カヌーに乗ったり、クリスマス会をしたりと、楽しい活動をしています。

【学習会】

山鹿市立隣保館 毎週水曜日 17時～21時

主なテーマ「外国ルーツの子どもたちの現状と課題について」

熊本県人権同和政策課 人権啓発web講座（一般市民）

教頭・幼稚園主任教諭人権教育研修会（熊本市内小中学校教頭・幼稚園主任教諭）

JICA九州多文化共生シンポジウム2023（一般市民）

日本語教育支援連絡協議会（熊本県市町村教育委員会・小中学校教諭）

第42回熊本市青少年健全育成大会（青少年健全育成関係機関、各校区青少年健全育成協議会等）

熊本県高等学校保健会 第2回城南地区養護教諭部会（城南地区高等学校及び特別支援学校 養護教諭）

山鹿市立山鹿隣保館文化祭講演（山鹿市山鹿地区教養講座受講生） など多数

【第127回「熊日緑のリボン賞」を受賞しました】

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとは、2023年度、

熊本日日新聞主催の「熊日緑のリボン賞」を受賞しました。

この賞は、熊本県内で長年にわたり、社会奉仕や環境美化に取り組む人たちに贈られる賞です。外国ルーツの子どもたちへの支援を続けてきた私たちにとって、とても嬉しい受賞となりました。

これからも、外国ルーツの子どもたちへの支援活動を続けていきたいと思ひます。

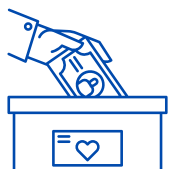


2024年度活動予定

- ① 「第19回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」 2024年7月7日(日)
- ② 「第17回九州外国ルーツの生徒交流会inくまもと」 2025年3月22日(土)、23日(日)
- ③ 「おるがったステーション」

学習会@熊本市国際交流会館	毎週日曜日	10:00～15:00
GlobalTerakoyaたけんち	毎週土曜日 & 日曜日	9:00～17:00
- ④ 「おるがったキッズ」 毎月第2・4日曜日 10:30～12:00
- ⑤ 「日本語指導員・月例研修会」 毎月第4土曜日 10:30～12:00

お願い



NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとは、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。

自治体の委託事業である「くまもとこどものにほんご」以外の子どもの居場所づくり、学習支援にしましては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後ともお力添えをよろしくお願い致します。

口座振込寄付をする

ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

一七九店 当座165967

口座番号：01760-3-165967

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

クレジットカードで寄付をする

<https://syncable.biz/associate/shiennetkumamoto>



← 寄付ページQRコード